

平成28年度第2回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日とき	平成28年11月29日(火) 午後2時00分～午後3時00分
開催場所	滝川市役所8階 大会議室
出席状況	<p>【委員】 出席：石川委員長、山田副委員長、越後委員、貝之瀬委員、栗井委員、浜田委員、高橋委員、本多委員、水戸委員 欠席：藤本委員</p> <p>【事務局】 市民生活部 暮らし支援課 横山課長、大橋係長、山本主任主事</p>
議事内容	<p>1 開会 2 評価シートについての説明(各物語ごとに説明) 評価シートの素案について、物語ごとに事務局から説明を行った。 各委員からの意見などは次のとおり。</p> <p>【資源の環(わ)循環 物語】</p> <p>委員)：ごみが分別された後にどうなっているのかについて書かれているものはあるか。分別後にどうなっているのかを市民が知っていた方が、分別の意欲が湧くと思う。</p> <p>事務局)：分別後の詳細な流れが載っているものは近年作っていない。なお、集められた缶やビン、古紙などの資源ごみは売却している。ごみ袋の売上金だけでは、ごみ収集にかかる人件費や車の経費などを賄えないので、資源ごみを再利用する業者へ資源ごみを売却する際、発生した売上げもごみ収集費用に活用している。</p> <p>回収量等については、年次報告書に記載されている。</p> <p>今いただいたご意見については、市民の関心事だと思うので、今後市民に周知することを考えていきたいと思う。</p> <p>委員)：パブリック・コメントワークショップが「資源の環(わ)循環 物語」に記載されているのはどうしてか。</p> <p>事務局)：計画に意見をいただくということでEPO北海道が開催したが、広い意味で環境やごみについて意見をいただいていた。全ての物語に該当することからどこに掲載するのが適切なのか検討したが、この項目が計画全体において入口的位置付けになっているので、ここに掲載することがふさわしいと考えこちらにさせていただいた。</p> <p>【創(そう)エネ・省(しょう)エネ物語】</p> <p>委員)：駅前広場の整備について聞きたいが、太陽光発電による電力は災害のときに利用するのか。</p> <p>事務局)：災害のときにも使える。</p> <p>委員)：では、普段は通常の街灯として使用するのか。</p> <p>事務局)：そのとおり。</p>

委員) : エネルギーパークに認定されたことで、補助金が出ているのか。

事務局) : エネルギーパークに認定されたことで即補助金は交付されていないが、再生可能エネルギーや省エネ補助金の補助申請採択の際に有利に働くものと期待している。

なお、丸加高原で風力発電の風力調査を行っていたが、2年間行った結果、規定の風力が不足しており、正式に中止となった。

委員) : ふれあいの里の蓄電池の関係で、どれくらいのもが賄えたのか。

事務局) : 太陽光発電の発電データしか、こちらでは把握していない。

委員) : これは、太陽光で発電したものを蓄電しているのか。風力で発電したものは蓄電していないのか。

事務局) : 風力も蓄電されるが、電気を使用していないときは蓄電して、日中電気を使用しているときは、蓄電しないで通常どおり電気として利用する。非常時や災害のときには蓄電した電気を使用する。

委員) : 農業系でいろいろ実証試験を行っていると聞いたが、実証試験結果を今後どのように活用するのか計画はあるのか。

事務局) : 今のところ、これが実用化できるのかという実証実験の段階。実用化できることになれば、どのように利用するのかを考えていく予定。

東京の会社が「もみ殻」を粉末にして、ボイラーの燃料にするシステムを開発した。市内の農業用のハウスで今月末まで実験を行っている。今後、結果が出てきたら、委員会でも報告させてもらう。

委員) : コメント欄で、「引き続き環境系の補助金を活用して・・・」とあるが、この「環境系」とはどういうことか。

事務局) : 再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入等に利用できる補助金という意味だが、この表現は適切ではないので、適切な表現に置き換えたいと思う。

委員) : だいたい言っている意味はわかるが、環境系というのはそぐわないと思う。これは、市の補助金なのか、それとも国の補助金なのか。

事務局) : 国や道の補助金を考えている。先ほどの駅前整備の費用も国の補助金を活用している。再生可能エネルギーなどの方が適切だと思うので訂正する。

委員) : 廃食用油を活用したボイラーの稼働とあるが、自分も家で使った油を市役所に持ってきている。このように評価シートに書いてもらえるとやったかがある。

委員) : 滝川にも大きな太陽光発電施設があるが、最近是一般の新築した家にも太陽光パネルがついているのを見かけるようになった。だんだん普及してきているのは良いことだ。

事務局) : 市の方でも市役所にパネルを取り付けたり、市の遊休地にメガソーラーを誘致などして取り組んだ結果、市民の方にも再生可能エネルギーが認知され、成果が出てきているのではないかと考えている。

委員) : エネルギーパークに認定されたばかりだが、認定されて良かったと思うことはあるか。

事務局)：目に見えた効果はこれからだと思う。認定されたということで、小学生などに「滝川は環境にやさしいまちなんだよ」と伝えやすくなった。今後、市民の環境保全意識向上につながってくればいいと思う。

委員)：補助金がとりやすくなるなどのメリットはないのか

事務局)：今のところはないが、エネルギーパークに認定されたという事実があればアピールもしやすくなり、有利に働いていくと期待している。

【農・山・川（ノー・ザン・リバー）物語】

委員)：「日本でもっとも美しい村連合」に加盟できたことから、江部乙町地域もすごく頑張っていると思う。江部乙町地域の人には恩恵を受けているのではないかと思う。もっと積極的な周知があればいいと思う。いつもイベントが終わってから知ることが多い。

委員)：もう少し、その取組を評価する内容にコメントを膨らませてほしいと思う。

事務局)：そのように訂正する。

【人の環（わ）づくり物語】

委員)：評価シートへのコメントということではないが、環境大会に出席させていただいて、高校生が自分事として環境について深く考えていると感心したし、これからの活動の広がり期待した。素晴らしい活動があるので、良い評価をしたいし、今後も発展して行って欲しい。今回は高校生中心だったが、中学生や小学生も関わっていけるように今後期待している。

委員)：環境市民大会での高校生の発表は素晴らしかった。
高校生がこのようなことに参加してくれるのはとても楽しみ。

委員)：高校生の活動は良い活動だと思う。よい意味で昨年とは違う大事な1年目になっている。これを上手につなげていくために、いろんな人を巻き込んで、いろいろな方が「私も」参加したいと思ってもらうことが大切。
手伝える大人は委員の中にもいるので、声をかけて欲しい。

事務局)：年々「人の環（わ）」ができており、正にテーマどおりになっている。少しずつだが、計画にもあった人の環をつくるという目標に近づいている。

委員)：ちょっと前までは大人だけの世界だった。それが、今は高校生で花が咲いた、今度は中学生、小学生と徐々に年齢層を落としていくと、いろんな世代が環境について考える仕組みができていく。私は、古くから環境に関わっているのだから、高校生が関わってくれただけでも良いことだと思っている。

委員)：一番の上のコメントの○の2つめに「地域や社会問題の解決・・・」と書いてあるが、解決というと違和感がある。解決というと問題ではないことも問題にしてしまう。今の環境問題は解決することは難しい。将来的に解決に持っていくという記載にしてはどうか。

事務局)：意見を参考にコメント見直しを行う。

委員)：環境問題の解決だったり、環境保護意識の向上であれば、環境面の課題を通して、地域の農業の活性化につながっているとか、放課後の児童センターでのイベントなどを通して、子供達の居場所確保など、環境を通して地域の課題解決につながっているというような感じではどうか。

事務局)：参考にさせていただく。

委員)：マイバック普及の取組が記載されているところで、簡易包装について触れているが、委員からのコメント(案)では消えているので、簡易包装についても記載してはどうか。

事務局)：意見を参考にコメント見直しを行う。

3 その他

(1) 平成28年度滝川市環境市民大会結果報告について

(2) エコたき普及キャラクター「エコたきくんと仲間たち」の完成について

(3) 地球温暖化防止活動普及大使の活動について

委員からの意見などは以下のとおり。

委員)：普及大使が児童センターで行うイベントには、大人も見に行っているのか。

事務局)：事前に言っただけであれば、児童センターに伝えておく。

(4) EPO北海道 本多委員より「ESD活動支援センター」の開設について特に質問、意見等はなし。